

AMAのCSRについては、チームの2人だけでなく、CEOをはじめ、取締役会、そしてそれぞれのチームや関連会社を代表する17人のCSRコーディネーターが組織的かつ協力的に専心しているという点を特筆すべきでしょう。



弊社では、自社のカーボンインパクトについての知識を深めるため、2020年のデータをもとにカーボンフットプリント分析を実施しました。これにより、弊社がCO2を排出している主な分野を特定し、カーボンフットプリントを削減するためのアクションプランを立てることができました。さらに、弊社のパートナーであるGood Planet Foundationと共に見積もりを行い、XpertEyeキットを1つ使用することで、それに関連する出張を減らすことができ、それにより、1か月あたり平均1 t-CO2eの排出が回避できることが分かりました。

ボランティアユーザーの力を借り、実際の導入例を準備しています。

このカーボンフットプリント分析に続き、Science Based Targetイニシアチブを通じ、スコープ1および2で、2030年までにカーボンフットプリントを42%削減することについても専心していく所存です。この目標値は、2100年までに世界の平均気温上昇を1.5°Cに抑えるために総力を挙げて取り組むというパリ協定の目標に沿ったものです。

AMAの従業員の認識を深めることをめざし、環境に配慮した実践例を共有しています。たとえば、1年を通して、持続可能性に関するワークショップやイベント（廃棄物のリサイクル、ITエコの実践、クリーンアップデーなど）を企画しています。



2019年度には、Best Workplaces®（ベスト・ワーク・プレイス）にも選出されたことにより、モチベーションは高まるばかりです。

才能ある人材こそが弊社の最大の資産であり、アットホームで居心地の良い職場にしたいと考えています。そのためには、日々の社員教育を推進することが大切であり、社内でのスキルの共有も高く評価しています。

AMAのマネージャーは、人と人との尊重し合う文化を浸透させ、平等さと多様性を奨励しています。さらに、AMAの経営陣は男女比率が均等です。AMAはジェンダー同権を達成すべく全社的に取り組んでいます。

弊社ではウェルビーイングにも力を注いでいます。スポーツおよびカルチャーパスとスポーツイベントへの参加を通じて、スポーツの実践も推進します。2021年10月、フランスのレンヌで行われたグリーンマラソンにはAMAの従業員25人が参加し、5つのチームに分かれて42.195 kmをリレーで走り抜きました。目的はチームビルディングと植樹です。1 km走るごとに1本の木を植えました。



AMA は、ビジネスにおける誠実さ、正直さ、そして倫理的な行動に対するコミットメントを表明した、**行動規範**をビジネスパートナーと共有しています。

持続可能な調達は今年の優先事項の1つで、私たちはバリューチェーンを通じて持続可能性の向上させるために、商工会議所のプログラムに参加することにしました。

また、弊社が支援を選択した持続可能な開発目標（下記参照）と軌を一にする地元の募金運動を通じて、**各地の取り組みにも参加**したいと思っています。このような取り組みには、暴力に苦しむ女性を助ける活動（フランス）や森林再生プログラム（ドイツ）、Ladies Who Techイベント（中国・上海）などがあります。

AMAのコミットメント

環境



倫理



弊社では、**グローバル・コンパクトの10原則**に従っています。これは、企業とは、皆が理想とする世界を作る責任企業であるべき、というコミットメントの一環として、人権、労働、環境および腐敗防止の分野で弊社が定めたものです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2015年、国連は「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択しました。これは、17項目の持続可能な開発目標を通じて、現在および未来の人びとと地球の平和と繁栄のための共通指針を提供するものです。私たちはそのうち、弊社の哲学と事業の本質に一致する6項目を追求することを選択しました。

NGO



評価およびラベル



Ethifinance による非財務的スコア = 65 / 100(業界における企業ベンチマーク: 46 / 100)

AMA のパートナー

